

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-334082

(43)Date of publication of application : 18.12.1998

(51)Int.Cl.

G06F 17/21

G06F 13/00

G06F 17/27

G09G 5/26

(21)Application number : 09-133866

(71)Applicant : KANO DENSAN HONGKONG
YUGENKOSHI

(22)Date of filing : 23.05.1997

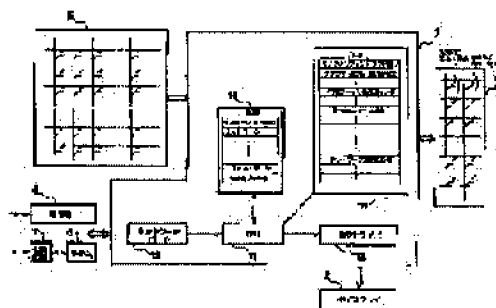
(72)Inventor : ARAGAI MICHINORI

(54) BROWSER, ITS DISPLAY METHOD, AND RECORDING MEDIUM THEREFOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To display characters in the same size as at the time of reducing/ enlarging a hypertext mark-up language(HTML) document preserved, by preserving it while changing its character size corresponding to reduced/enlarged display.

SOLUTION: When changing page display, namely, when the move of link or move to a new home page occurs, the magnification factor information stored in a font size enlargement/reduction area B is reset. When an instruction based on a pull-down menu concerning the preservation of HTML document is detected, the value in the font size enlargement/reduction area B and the value in an original font tag information preservation area A are substituted into a predetermined operation expression and the value of font size used for display at present is acquired. The world wide web(WWW) browser of ROM 14 changes a font size definition in the HTML document preserved in a RAM 15 into acquired font size and preserves it in a hard disk storage device or the like.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-334082

(43) 公開日 平成10年(1998)12月18日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/21

13/00

17/27

G 0 9 G 5/26

3 5 4

G 0 6 F 15/20

13/00

G 0 9 G 5/26

G 0 6 F 15/20

5 6 2 C

3 5 4 D

Z

5 5 0 E

5 6 4 Z

審査請求 未請求 請求項の数27 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号

特願平9-133866

(22) 出願日

平成9年(1997)5月23日

(71) 出願人 393007857

佳能電産香港有限公司

ホンコン、カウルーン、カウルーン ベ
イ、ワン タイ ロード 14、チュン ヒ
ン インダストリアル ビル、6 フロア

(72) 発明者 新飼 道典

神奈川県横浜市金沢区釜利谷南 2-50-1
-306

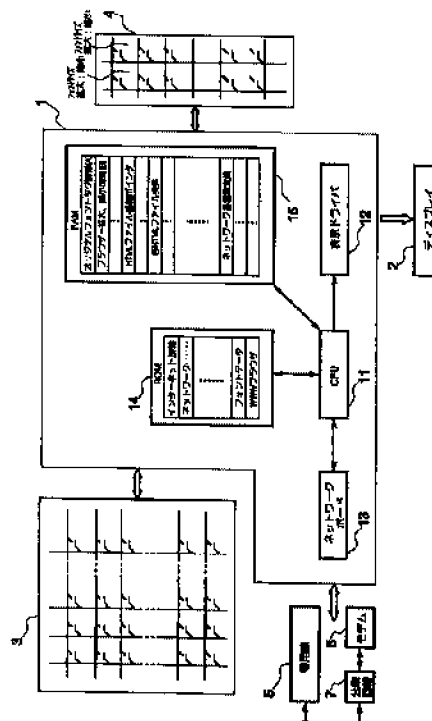
(74) 代理人 弁理士 谷 義一 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ブラウザおよびその表示方法ならびにその記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 HTML文書の縮小／拡大処理操作労力を緩和する。

【解決手段】 CPU 11は表示のHTML文書の文字サイズの縮小／拡大に応じて、HTML文書の文字サイズ定義を修正して保存する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザにおいて、

前記文書を保存するための保存手段と、

前記文書の保存を指示する指示手段と、

当該指示に応じて、縮小／拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を前記保存手段に保存する情報処理手段とを具えたことを特徴とするブラウザ。

【請求項2】 請求項1に記載のブラウザにおいて、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とするブラウザ。

【請求項3】 請求項1に記載のブラウザにおいて、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とするブラウザ。

【請求項4】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザにおいて、

最初に表示された文書の縮小／拡大された文字の縮小／拡大率情報を記憶する記憶手段と、

当該記憶された縮小／拡大率情報に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に当該文書の文字を縮小／拡大して表示する表示制御手段とを具えたことを特徴とするブラウザ。

【請求項5】 請求項4に記載のブラウザにおいて、前記縮小／拡大率の自動設定の要否を指示する指示手段をさらに有し、該指示手段により前記自動設定要の指示があった場合には前記表示制御手段は、異なる文書を受け付ける毎に前記記憶手段に記憶されたサイズ情報の示す縮小／拡大率で当該文書の文字を表示し、前記指示手段により前記自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を表示することを特徴とするブラウザ。

【請求項6】 請求項5に記載のブラウザにおいて、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とするブラウザ。

【請求項7】 請求項5に記載のブラウザにおいて、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とするブラウザ。

【請求項8】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザにおいて、

前記文書を保存するための保存手段と、

最初に表示された文書の縮小／拡大率を記憶する記憶手段と、

前記文書の保存を指示する指示手段と

当該指示に応じて、前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率に従って、前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を前記保存手段に保存する情報処理手段と前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を表示する表示制御手段とを具えたことを特徴とするブラウザ。

【請求項9】 請求項8に記載のブラウザにおいて、前記縮小／拡大率の自動設定の要否を指示する指示手段をさらに有し、該指示手段により自動設定要の指示があった場合には前記表示制御手段は、異なる文書を受け付ける毎に前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率で当該文書の文字を表示し、前記指示手段により自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を表示することを特徴とするブラウザ。

【請求項10】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、

前記文書の保存を指示し、

当該指示に応じて、縮小／拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正し、

当該修正された文書を保存部に保存することを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項11】 請求項10に記載のブラウザの表示方法において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項12】 請求項10に記載のブラウザの表示方法において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項13】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、

最初に表示された文書の縮小／拡大された文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶し、

当該記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示することを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項14】 請求項13に記載のブラウザの表示方法において、前記縮小／拡大率の自動設定の要否を指示し、自動設定要の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示

することを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項15】 請求項14に記載のブラウザの表示方法において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項16】 請求項14に記載のブラウザの表示方法において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項17】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、最初に表示された文書の縮小／拡大された文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶し、前記文書の保存を指示し、当該指示に応じて、前記記憶部に記憶された縮小／拡大率に応じて前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を保存部に保存し、前記記憶部に記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示することを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項18】 請求項17に記載のブラウザの表示方法において、前記縮小／変倍率の自動設定の可否を指示し、自動設定の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示することを特徴とするブラウザの表示方法。

【請求項19】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、前記文書の保存を指示する処理手順と、当該指示に応じて、縮小／拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正する処理手順と、当該修正された文書を保存部に保存する処理手順とを具備したことを特徴とする記録媒体。

【請求項20】 請求項19に記載の記録媒体において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項21】 請求項19に記載の記録媒体において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする記録媒体。

【請求項22】 文字サイズを文書中で規定した文書を

受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、最初に表示された文書の文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶する処理手順と、当該記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順とを具備したことを特徴とする記録媒体。

【請求項23】 請求項22に記載の記録媒体において、前記プログラムは、前記縮小／変倍率の自動設定の可否を指示する処理手順と、自動設定の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順と、自動設定の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示する処理手順とをさらに具備したことを特徴とする記録媒体。

【請求項24】 請求項23に記載の記録媒体において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項25】 請求項24に記載の記録媒体において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする記録媒体。

【請求項26】 文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、最初に表示された文書の文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶する処理手順と、前記文書の保存を指示する処理手順と、当該指示に応じて、前記記憶部に記憶された変倍率で前記文書中で規定された文字サイズを修正する処理手順と、当該修正された文書を保存部に保存する処理手順と、前記記憶部に記憶された変倍率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順とを具備したことを特徴とする記録媒体。

【請求項27】 請求項26に記載の記録媒体において、前記縮小／変倍率の自動設定の可否を指示し、自動設定の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定の指示があった

場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示することを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワーク等により外部から受信した通信用の書式の文書を表示用の書式に変換して表示するブラウザおよびその表示方法ならびにその記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来この種のブラウザは通信用にHTML(HYPER TEXT MARKUP LANGUAGE)の書式で記述されたテキストファイル(以下、HTML文書と略記する)をインタプリット(通信用の書式から表示用の書式への変換)して表示装置に表示するためのソフトあるいはそのソフトを実行する装置として知られている。

【0003】音声、イメージが混在した文書を取り扱うブラウザはWWW(WORLD WIDE WEB)ブラウザの名前で広く知られている。

【0004】HTML文書は通信ネットワーク、たとえば、インターネットに接続されたサーバに格納される。サーバに格納された文書はホームページとも呼ばれる。通信ネットワークに接続したクライアントに対してURLと呼ばれ、上記ホームページに割り当てられている通信アドレスを与えると、クライアントはサーバからホームページのHTML文書を読み出し、書式変換して表示する。

【0005】この表示の中に記載されている他のサーバのホームページ名をユーザが指定すると、クライアントはホームページ名に対応づけられ、HTML文書内に記載されているURLを使用して、指定されたホームページを他のサーバから読み出して表示する。このようにホームページの表示を切り換えることはネットサーフィンと呼ばれる。

【0006】HTML文書には、表示すべき文字情報(文字コード形態)、共に表示すべきイメージ等の相対記憶アドレス(URLからリンクした読み出しアドレス)、これら表示情報の書式が記載されている。文字情報についてはフォント(文字)の種類、サイズの書式を定義可能であり、定義がない場合には、あらかじめ定められているデフォルトが使用される。ブラウザはHTML文書に記載されているフォントサイズに基づき文字をイメージに変換して定義されているフォントサイズの文字を表示する。

【0007】インターネット等の通信ネットワークに接続するクライアントは大多数なので、クライアントとして使用しているパーソナルコンピュータやワークステーションの表示装置も多種にわたる。

【0008】したがって、表示装置の表示画面の大きさ

に合わせて、HTML文書を縮小/拡大して表示することが可能なブラウザも提案されている。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら表示の縮小/拡大はHTML文書から変換された表示用のイメージに対して行われるので、たとえば、サーバから読み取ったHTML文書(テキスト形態)を内部に保存し、保存のHTML文書を表示させるとその表示は縮小/拡大前のものと同じになってしまう。

10 【0010】また、上述のネットサーフィンによりホームページの切り換えを行うと、上述と同様に表示は縮小/拡大モードが解除されてしまう。

【0011】このため、ユーザは、ホームページの表示毎に好適な拡大/縮小率を設定し直さなければならなかった。

【0012】そこで、本発明の目的は、上述の点に鑑みて、本発明の目的は、表示画面の文字サイズの手動設定に係るユーザの操作労力を低減することの可能なブラウザおよびその表示方法ならびにその記録媒体を提供することにある。

20

【0013】

【課題を解決するための手段】このような目的を達成するために、請求項1の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小/拡大可能なブラウザにおいて、前記文書を保存するための保存手段と、前記文書の保存を指示する指示手段と、当該指示に応じて、縮小/拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を前記保存手段に保存する情報処理手段とを具えたことを特徴とする。

30

【0014】請求項2の発明は、請求項1に記載のブラウザにおいて、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0015】請求項3の発明は、請求項1に記載のブラウザにおいて、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

40

【0016】請求項4の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小/拡大可能なブラウザにおいて、最初に表示された文書の縮小/拡大された文字の縮小/拡大率情報を記憶する記憶手段と、当該記憶された縮小/拡大率情報に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に当該文書の文字を縮小/拡大して表示する表示制御手段とを具えたことを特徴とする。

【0017】請求項5の発明は、請求項4に記載のブラウザにおいて、前記縮小/拡大率の自動設定の可否を指示する指示手段をさらに有し、該指示手段により前記自動設定の指示があった場合には前記表示制御手段は

異なる文書を受け付ける毎に前記記憶手段に記憶されたサイズ情報の示す縮小／拡大率で当該文書の文字を表示し、前記指示手段により前記自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を表示することを特徴とする。

【0018】請求項6の発明は、請求項5に記載のブラウザにおいて、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0019】請求項7の発明は、請求項5に記載のブラウザにおいて、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

【0020】請求項8の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザにおいて、前記文書を保存するための保存手段と、最初に表示された文書の縮小／拡大率を記憶する記憶手段と、前記文書の保存を指示する指示手段と、当該指示に応じて、前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率に従って、前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を前記保存手段に保存する情報処理手段と前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を表示する表示制御手段とを具えたことを特徴とする。

【0021】請求項9の発明は、請求項8に記載のブラウザにおいて、前記縮小／拡大率の自動設定の要否を指示する指示手段をさらに有し、該指示手段により自動設定要の指示があった場合には前記表示制御手段は、異なる文書を受け付ける毎に前記記憶手段に記憶された縮小／拡大率で当該文書の文字を表示し、前記指示手段により自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を表示することを特徴とする。

【0022】請求項10の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、前記文書の保存を指示し、当該指示に応じて、縮小／拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を保存部に保存することを特徴とする。

【0023】請求項11の発明は、請求項10に記載のブラウザの表示方法において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0024】請求項12の発明は、請求項10に記載のブラウザの表示方法において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

【0025】請求項13の発明は、文字サイズを文書中

で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、最初に表示された文書の縮小／拡大された文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶し、当該記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示することを特徴とする。

【0026】請求項14の発明は、請求項13に記載のブラウザの表示方法において、前記縮小／拡大率の自動設定の要否を指示し、自動設定要の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示することを特徴とする。

【0027】請求項15の発明は、請求項14に記載のブラウザの表示方法において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0028】請求項16の発明は、請求項14に記載のブラウザの表示方法において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

【0029】請求項17の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザの表示方法において、最初に表示された文書の縮小／拡大された文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶し、前記文書の保存を指示し、当該指示に応じて、前記記憶部に記憶された縮小／拡大率に応じて前記文書中で規定された文字サイズを修正し、当該修正された文書を保存部に保存し、前記記憶部に記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示することを特徴とする。

【0030】請求項18の発明は、請求項17に記載のブラウザの表示方法において、前記縮小／変倍率の自動設定の要否を指示し、自動設定要の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示することを特徴とする。

【0031】請求項19の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは前記文書の保存を指示する処理手順と、当該指示に応じて

縮小／拡大された文字に対応する文字サイズに前記文書中で規定された文字サイズを修正する処理手順と、当該修正された文書を保存部に保存する処理手順とを具えたことを特徴とする。

【0032】請求項20の発明は、請求項19に記載の記録媒体において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0033】請求項21の発明は、請求項19に記載の記録媒体において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

【0034】請求項22の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、最初に表示された文書の文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶する処理手順と、当該記憶された縮小／拡大率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に該縮小／拡大率で当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順とを具えたことを特徴とする。

【0035】請求項23の発明は、請求項22に記載の記録媒体において、前記プログラムは、前記縮小／変倍率の自動設定の要否を指示する処理手順と、自動設定要の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順と、自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示する処理手順とをさらに具えたことを特徴とする。

【0036】請求項24の発明は、請求項23に記載の記録媒体において、前記文書はHTMLの言語で記載されていることを特徴とする。

【0037】請求項25の発明は、請求項24に記載の記録媒体において、前記文書は通信ネットワークを介してサーバから取り込む文書であることを特徴とする。

【0038】請求項26の発明は、文字サイズを文書中で規定した文書を受け付け、該文字サイズで前記文書を表示部に表示するとともに表示の前記文書の文字サイズを縮小／拡大可能なブラウザに搭載される記録媒体であって、コンピュータにより読み取り実行されるプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、最初に表示された文書の文字の縮小／拡大率を記憶部に記憶する処理手順と、前記文書の保存を指示する処理手順と、当該指示に応じて、前記記憶部に記憶された変倍率で前記文書中で規定された文字サイズを修正する処理手順と、当該修正された文書を保存部に保存する処理手順と、前記記憶部に記憶された変倍率に従って、以後、異なる文書を受け付ける毎に当該文書の文字を前記表示部に表示する処理手順とを具えたことを特徴とする。

【0039】請求項27の発明は、請求項26に記載の記録媒体において、前記縮小／変倍率の自動設定の要否を指示し、自動設定要の指示があった場合には異なる文書を受け付ける毎に前記記憶部に記憶された縮小／変倍率で当該文書の文字を前記表示部に表示し、自動設定否の指示があった場合には、受け付けた文書の中で規定されている文字サイズで当該受け付けた文書を前記表示部に表示することを特徴とする。

【0040】

10 【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の実施形態を詳細に説明する。

【0041】図1はWWW用のブラウザ（ソフトウェア）を搭載したブラウザ専用の情報処理装置（クライアント）のシステム構成の一例を示す。情報処理装置としては汎用のパーソナルコンピュータ、汎用のワードプロセッサ、画像処理専用の情報処理装置等、ソフトウェアプログラムを実行する機能と、通信機能を有する情報処理装置を使用することができる。図1において、情報処理本体であり、情報処理装置本体（以下、情報処理装置と略記する）1にはディスプレイ2、キーボード3、モデム6が接続されている。モデム6は公衆回線7に接続され、公衆回線7を介して、サーバと情報処理装置1を接続する。専用線5はプリンタ等と情報処理装置1とを接続する。

【0042】なお、本実施の形態では、ディスプレイ2の表示画面にプルダウンメニューと呼ばれるメニューを表示し、メニューの中の処理を不図示のマウス等のポインティングデバイスで指示するので、このプルダウンメニューを模式的に符号4で示している。

30 【0043】情報処理装置はCPU11、表示ドライバ12、ネットワークボード（通信ボード）13、ROM14およびRAM15を有する。CPU11はROM14に格納された各種プログラムを読み取り実行する。表示ドライバ12はCPU11の制御の下にイメージをディスプレイ2に表示させる。ネットワークボード13はCPU11の制御の下に専用線5、モデム6等を使用した通信を行う。ROM14には上述の処理を行うためのシステム処理プログラム、本発明に係るWWWブラウザ用のプログラム、文字コードを表示用のイメージに変換するためのフォントデータ等が格納されている。RAM15はCPU11に対する入出力データを一時記憶する。

40 【0044】システム動作の説明のためにHTML文書について説明する。図2～図5はWWWブラウザによりHTML文書を表示させた表示例であり、図6～図13はHTML文書そのものの記載例である。図2が図6および図7に対応し、図3が図8および図9に対応する。図4が図10および図11、図5が図12および図13に対応する。たとえば、図6のHTML文書がサーバからクライアントに取り込まれるとクライアントのWWW

ブラウザが図6のHTML文書に記載された書式関連データ(この場合)に基づき表示すべき文字列「国連50周年...」の表示用の文字サイズを設定する。この文字列の表示例を図2の符号Aで示す。図3の表示例は図2の文字列Aを拡大したものであり(符号B参照)、比較すると分かるようにHTML文書で定義されているフォントサイズが小さいと、表示器によっては表示が見にくいものになってしまう。

【0045】次にユーザが図2のA'のイメージの先頭部分をマウス等で指示すると、WWWブラウザはこのイメージに関連付けられているHTML文書にリンクして、図10および図11のHTML文書を図4のように表示する。図4の符号Cで示すようにHTML文書の定義の文字サイズが小さいと(図10の符号G参照)、表示の文字が小さくなってしまふ。また、たとえ表示の文字を縮小/拡大しても、HTML文書のフォントの定義(図6の符号E、図10の符号G)は変更されずにそのままなので、このHTML文書を装置内に保存し、その後再表示すると、表示の文字は小さくなってしまふ。そこで、本実施の形態では、縮小/拡大の表示の指示があった場合には、関連のHTML文書のフォント定義の記載を変更する。これにより、保存やリンクを行っても、新しい表示画面も好適な文字の大きさが自動設定される。

【0046】このような処理を実行するための処理手順を図14に示す。図14の処理手順は図1のCPU11により読み取り実行可能なプログラム言語で記載され、ROM14のWWWブラウザ内に設けられる。

【0047】従来と同様ネットワークを介してインターネットに接続し、WWWブラウザを実行するCPU11(単にWWWブラウザと略記する)によりあるサーバのホームページにアクセスすると、WWWブラウザはサーバからデフォルトデータを含む図6に示すようなHTML文書を取得し、RAM15の所定領域に格納する(ステップS1)。

【0048】WWWブラウザは図6のHTML文書の第1行目から順次に文字列を取り出し、インタプリット(文法解析)して、表示を行う。ちなみに、<>で囲まれる記述がフォーマット定義であり、表示の書式を定義する。第1行目の<HTML>はこの文書がHTML文書であることを示す記述である。第2行目の<HEAD>はヘッダーの定義を行うことの宣言である。

【0049】<TITLE>Headquater</TITLE>はHeadquaterという文字列を表示のタイトル位置に表示しなさいという記述である。この記述により図2の左上にHeadquaterが表示される。このようにして、WWWブラウザは図6のHTML文書の記述をインタプリットして、フォントサイズに関するデフォルトの記述(図6の符号E)を検出すると、検出したデフォルト値

(数値1)を図1のRAM15のオリジナルフォントタグ情報保存エリア(A)に一時的に記憶する(ステップS3)。残りの記述についても同様のインタプリットが行われ、表示が行われる。ユーザは表示を見て、文字が小さいあるいは大きいと判断した場合には、プルダウンメニュー4の拡大/縮小を指示する。この指示がステップS4で検出される。この検出および縮小/拡大の判別後、WWWブラウザは指示回数に応じて、フォントサイズの縮小/拡大率(変倍率)を変更する。より具体的には指示回数1回に応じて図1のRAM15のフォントサイズ拡大縮小情報エリア(B)の値を拡大の場合は+1、縮小の場合には-1する(ステップS7、S8)。なお、リセットにより設定される初期値は数値0である。言うまでもないことであるが、最大縮小率や最大拡大率たとえば、0や7に変倍率設定値が到達した場合は、それ以後のデクリメントやインクリメントは行われない。フォントサイズの値の変更によりWWWブラウザは、従来と同様、文字サイズを変更してHTML文書を表示する。

【0050】拡大縮小以外の通常の処理についての指示が行われた場合には、手順はステップS4→S5→S6→S13→S9→S10により従来と同様、指示に対応する処理が行われる。

【0051】第1の実施の形態では、ページ表示が変更される場合、すなわち、リンクの移動や、新規ホームページへの移動が発生した場合には、フォントサイズ拡大縮小情報エリア(B)に記憶してある変倍率情報をリセットする(ステップ14)。

【0052】HTML文書の保存(セーブ)についてのプルダウンメニューによる指示が検出された場合には(ステップS9)、フォントサイズ拡大縮小情報エリア(B)の値とオリジナルフォントタグ情報保存エリア(A)の値を予め定めた演算式に代入し、現在、表示に使用されているフォントサイズの値を取得する(ステップS11)。

【0053】WWWブラウザはRAM15内に保存してあるHTML文書内のフォントサイズ定義(図6の符号E)を取得したフォントサイズに変更する(図8の符号F)し、不図示のハードディスク記憶装置等に保存する(ステップS12)。

【0054】このようなフォントサイズの変更処理を施してからHTML文書を保存するので、保存後のHTML文書を再表示した場合には、その表示は、保存前の表示と同じものとなる。

【0055】次に、ページ画面を変更した場合に変更前の縮小/拡大倍率(変倍率)を維持できるようにした第2の実施形態を説明する。

【0056】第2の実施形態におけるWWWブラウザの処理手順を図16に示す。図16において、図15の第1の実施形態と同様の個所には同一の符号を付してお

10

20

30

40

50

り、詳細な説明を省略する。

【0057】この実施形態では、表示画面上のプルダウンメニューで指示（特殊キー）をユーザが行うと、現在、拡大（または縮小）表示されている文書の文字サイズで以後、他のサーバから取り込んだ文書やリンクにより切り換えられた文書を表示する。このモードの指示をステップS15で検知すると、WWWブラウザは、このモードが設定されたことを示すフラグF1gをオフ

（0）からオン（1）にセットする（ステップS16）。

【0058】これによりリンクや新規サーバへの移行により表示画面が切り替わる場合には、このフラグF1gが参照され（ステップS13）、オンの時には、すなわち、先に縮小／拡大により定まった好適な文字サイズ情報（フォントサイズ拡大縮小情報エリア（B）に格納の縮小／拡大率）がリセット（初期値0に設定）されず（ステップS17→S1）、新規のHTML文書の表示の時には、この文書中で規定された文字サイズではなく、フォントサイズ拡大縮小情報エリア（B）の縮小／拡大率でHTML文書文字が縮小／拡大表示される（ステップS3）。

【0059】一方、フラグF1gがオフのままの場合には、フォントサイズ拡大縮小情報エリア（B）の文字サイズ情報がリセットされるので、新規HTML文書の表示の時には、この文書中で規定されている文字サイズが使用される。

【0060】なお、このようにして前のHTML文書で設定した文字サイズを使用した新規のHTML文書を保存する場合には、このHTML文書の文字サイズ定義を書き換えて保存することは言うまでもない。

【0061】以上、述べた、実施例の他に次の形態を実施できる。

【0062】1）上述の実施形態はHTML文書を表示するためのブラウザ専用機に本発明を適用する例であったが、汎用のコンピュータ、たとえば、ワードプロセッサ、パーソナルコンピュータ、電子手帳等にも本発明を適用できる。この場合には、図14、図15や図16に示すブラウザ用のプログラムを保存用の記録媒体、たとえば、ハードディスク記憶装置やEEPROMに格納して、CPUにより読み取り、実行する。また、フロッピーディスクやCDROMに上記プログラムを記憶しておき、ハードディスク記憶装置やEEPROMに転送（インストールしてもよい）ことももちろんである。

【0063】2）HTML文書では文字サイズは1種類だけでなく、複数の文字サイズ定義を使用することが可能である。そこで、画面全体が縮小／拡大された場合には、複数の文字サイズをその変倍率に合わせて修正すればよい。また、しきい値を超える極めて小さいか大きい文字サイズに限定して本発明を適用することも可能である。

【0064】3）上述の実施の形態ではHTMLで記載された文書について説明したが、ブラウザがインタープリットする文書はHTML文書に限らず、文書中でフォントサイズが定義される文書に本発明を適用できる。

【0065】4）文字の縮小／拡大については、文字コードから変換された文字のイメージ（ビットマップイメージとも呼ばれる）を縮小／拡大して表示する方法と、文字コードをイメージに変換するために使用するフォントデータの文字サイズを、たとえば、10ポイントサイズのフォントデータを11ポイントサイズのフォントデータというように縮小／拡大率に応じてフォントデータの文字サイズを使い分ける方法を採用することができる。

【0066】

【発明の効果】以上、説明したように、請求項1、2、10、11、19、20の発明によれば、HTML文書のような文書中で文字サイズが規定されている文書を縮小／拡大表示しても、その縮小拡大表示に合致した文字サイズに文書中の文字サイズが変更されて保存される。これにより保存のHTML文書を再表示したときは、縮小／拡大された時と同じ大きさで文字が表示される。

【0067】請求項3、12、21の発明によれば、インターネットのような通信ネットワークで取り扱われる文書を自己の表示装置に好適な形態で保存することができる。

【0068】請求項4～7、13～16、22～25の発明では、インターネットのような通信ネットワークで取り扱われるHTML文書の表示の縮小／拡大率を一度設定すると、以後、HTML文書の表示を切り換えても、同じ縮小／拡大率で文字が縮小／拡大される。また、この機能の要否を指示することで、HTML文書の種類に応じて好適な表示形態を得ることができる。

【0069】請求項8、9、17、18、26、27の発明では縮小拡大率を記憶手段に記憶しておくので、縮小／拡大率に応じた文書の保存機能および文字の同一縮小／倍率での表示機能を提供できる。また、同一の縮小倍率での文字表示機能の要否を指示することで、HTML文書の種類に応じて好適な表示形態を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明第1の実施形態のシステム構成を示すブロック図である。

【図2】HTML文書の表示例を示す説明図である。

【図3】HTML文書の表示例を示す説明図である。

【図4】HTML文書の表示例を示す説明図である。

【図5】HTML文書の表示例を示す説明図である。

【図6】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図7】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図8】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図9】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図10】HTML文書の記載内容を示す説明図であ

る。

【図11】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図12】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図13】HTML文書の記載内容を示す説明図である。

【図14】第1の実施形態の表示制御手順を示すフローチャートである。

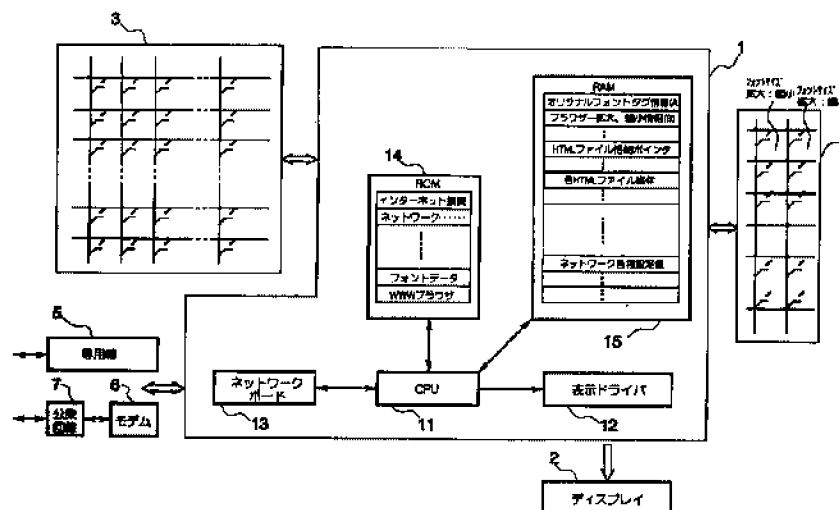
【図15】第1の実施形態の表示制御手順を示すフローチャートである。

【図16】第2の実施形態の表示制御手順を示すフローチャートである。

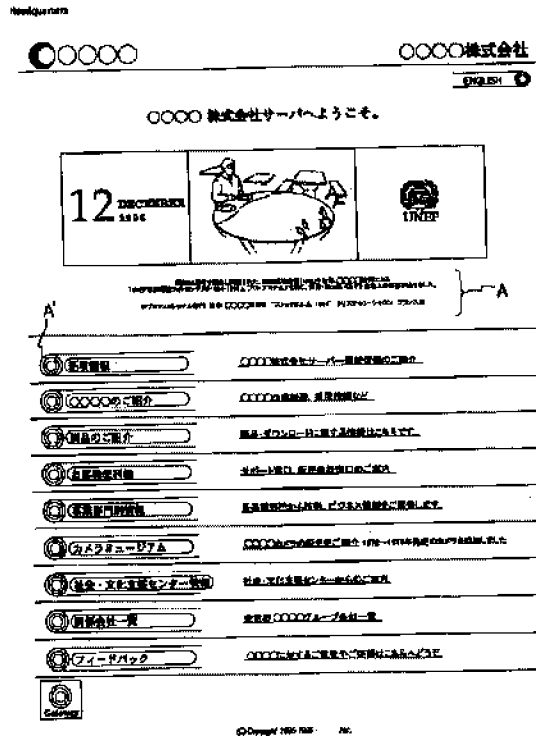
*【符号の説明】

- 1 情報処理機器
- 2 ディスプレイ
- 3 キーボード
- 4 プルダウンメニュー
- 5 専用線
- 6 モデム
- 7 公衆回線
- 11 CPU
- 12 表示ドライバ
- 13 ネットワークボード
- 14 ROM
- 15 RAM

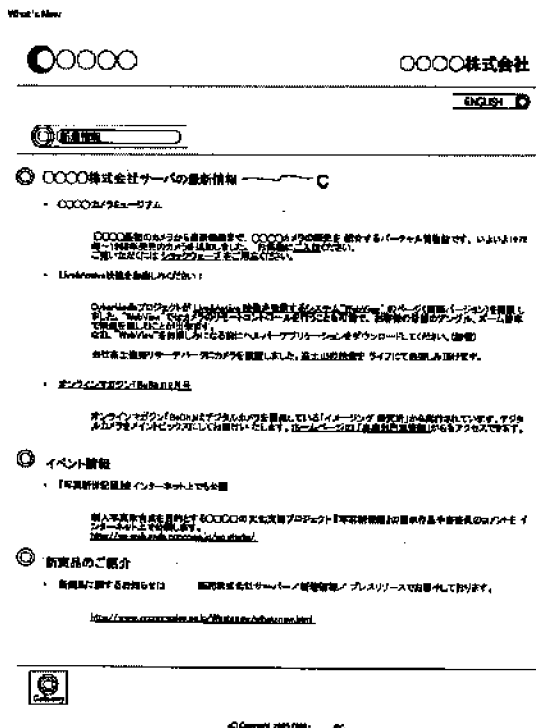
【図1】



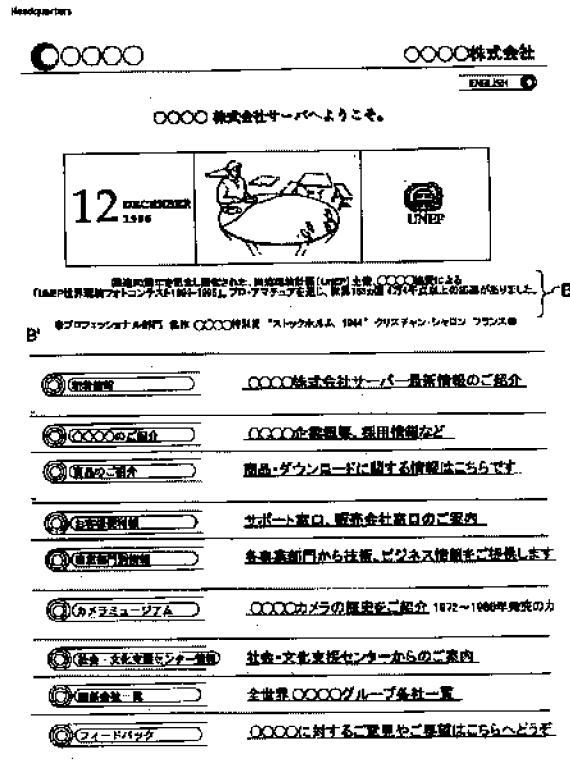
【図2】



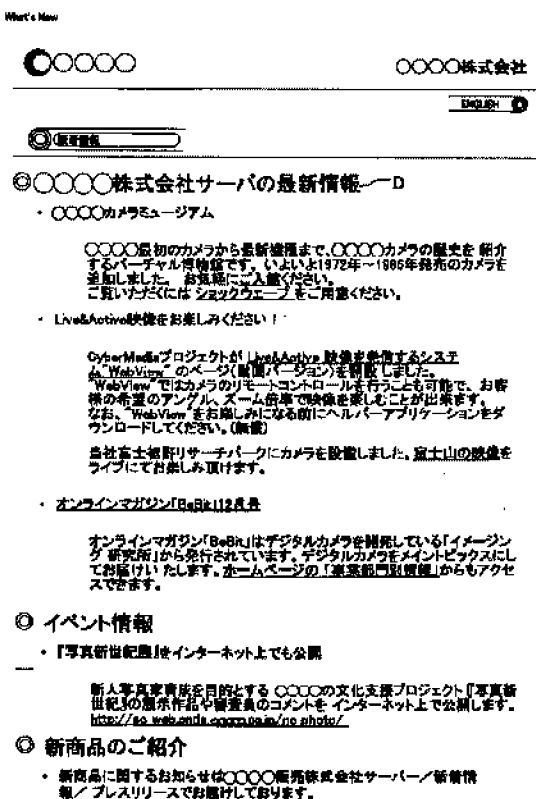
【図4】



【図3】



【図5】



【図6】

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Headquarters</TITLE>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<IMG ALIGN=left SRC="common/headlogo_WH.gif" ALT="〇〇〇〇ロゴ" HEIGHT=43 WIDTH=170>
<IMG ALIGN=right SRC="common/inc_headlogo-j.gif" ALT="〇〇〇〇テキスト" HEIGHT=43 WIDTH=150>
<BR CLEAR=all>
<NR>
<A HREF="index-e.html">
<IMG ALIGN=right SRC="common/english.gif" ALT="英語" HEIGHT=26 WIDTH=133 BORDER=0>
</A>
<BR CLEAR=all>
</HEAD>
<BR>
<CENTER>
<IMG SRC="welcome-j.jpg" ALT="〇〇〇〇株式会社サーバーへようこそ" HEIGHT=34 WIDTH=360>
<BR><BR>
<A HREF="/cgi-bin/imagesp/unep-j">
<IMG SRC="dsember.jpg" ALT="December Photo" HEIGHT=174 WIDTH=575 BORDER=0 ISMAP>
</A>
<BR>
<NOBR>
<FONT SIZE=1>
  国連50周年を記念し開催された、国連環境計画（UNEP）主催、
  「UNEP世界環境フォーラム」が1994-1995年、プロ・アマチュアを通じ、世界153カ国
  4万4千点以上の応募がありました。<BR><BR>
  ●プロアマシニア部門 佳作 〇〇〇〇特別賞 "ストックホルム 1944" クリスチヤン・シ
  ャロフスキス
<BR><BR><BR>
</FONT>
</NOBR>
</CENTER>
<HR>
<BR>
<NOBR>
<A HREF="newlink-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/whatnew-js.gif" ALT="新着情報" BORDER=0 HEIGHT=39 WIDTH=270>
  〇〇〇〇株式会社サーバー最新情報のご紹介
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="about-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/about-js.gif" ALT="〇〇〇〇のご紹介" BORDER=0 HEIGHT=37 WIDTH=270>
  〇〇〇〇企業概要、採用情報など
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="product-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/products-js.gif" ALT="商品のご紹介" BORDER=0 HEIGHT=37 WIDTH=270>
  〇〇〇〇ダウンロードに関する情報はこちらです
</A>
</NOBR>
<HR>

```

【図7】

```

<NOBR>
<A HREF="customer-j.html">
  <IMG ALIGN=Center SRC="common/celes-js.gif" ALT="お客様便利帳" BORDER=0 HEIGHT=38 WIDTH=
270>
  サポート窓口、販売会社窓口のご案内
</NOBR>
</A>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="divisional-j.html">
  <IMG ALIGN=Center SRC="common/division-js.gif" ALT="事業部門別情報" HEIGHT=37 WIDTH=270
BORDER=0>
  各事業部門から技術、ビジネス情報をご提供します
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="Camera-muse/">
  <IMG ALIGN=Center SRC="e_museum-js.gif" ALT="カメラミュージアム" HEIGHT=36 WIDTH=270 BOR
DER=0></A>
  <A HREF="Camera-muse/">
    ○○○○カメラの歴史をご紹介します</A>
  <Font size=-1>1972～1980年発売のカメラを追加しました
</NOBR>
</Font>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="Heartware/index.html">
  <IMG ALIGN=Center SRC="common/social-js.gif" ALT="社会・文化支援センター情報" BORDER=0 H
EIGHT=38 WIDTH=270>
  社会・文化支援センターからのご案内
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="subsidia-j.html">
  <IMG ALIGN=Center SRC="common/subsidia-js.gif" ALT="関係会社一覧"
BORDER=0 HEIGHT=38 WIDTH=270>
  全世界 ○○○○グループ会社一覧
</NOBR>
</A>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="mailto:webmaster@.oo.jp">
  <IMG ALIGN=Center SRC="common/feed-js.gif" ALT="フィードバック" HEIGHT=36 WIDTH=270 BORD
ER=0>
  ○○○○に対するご意見やご要望はこちらへどうぞ
</A>
</NOBR>
<HR>
<A HREF="w3gate-j.html">
  <IMG SRC="common/squaregway.gif" ALT="Homeボタン" BORDER=0 HEIGHT=47 WIDTH=62>
</A>
<BR><BR>
<CENTER>
<IMG ALIGN=Center SRC="common/copyright.gif" ALT="Copyright 1995-CANON INC." HEIGHT=16 WID
TH=103>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

【図8】

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Headquarters</TITLE>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<IMG ALIGN=Left SRC="common/headlogo_WH.gif" ALT="〇〇〇〇ロゴ" HEIGHT=43 WIDTH=170>
<IMG ALIGN=Right SRC="common/inc_headlogo-j.gif" ALT="〇〇〇〇テキスト" HEIGHT=43 WIDTH=150>
<BR CLEAR=all>
<HR>
<A HREF="index-e.html">
<IMG ALIGN=Right SRC="common/english.gif" ALT="英語" HEIGHT=26 WIDTH=133 BORDER=0>
</A>
<BR CLEAR=all>
</HEAD>
<BR>
<CENTER>
<IMG SRC="welcome-j.jpg" ALT="〇〇〇〇株式会社サーバーへようこそ" HEIGHT=34 WIDTH=360>
<BR><BR>
<A HREF="/cgi-bin/imagesp/ugsp.jpg">
<IMG SRC="december.jpg" ALT="December Photo" HEIGHT=174 WIDTH=575 BORDER=0 ISMAP>
</A>
<BR>
<NOBR>
<FONT SIZE=4> F
国連50周年を記念し開催された、国連環境計画（UNEP）主催、〇〇〇〇協賛による<BR>
UNEP環境展（テキスト1994-1999）、プロ・アマチュアを鑑じ、世界163カ国
4万4千点以上の応募がありました。<BR><BR>
●プロフェッショナル部門 佳作 〇〇〇〇特別賞 'ストックホルム 1944' クリスチャン・シ
ャロソフ ラウシス●
<BR><BR><BR>
</FONT>
</NOBR>
</CENTER>

<HR>
<BR>
<NOBR>
<A HREF="newlink-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/whatnew-j.gif" ALT="新着情報" BORDER=0 HEIGHT=36 WIDTH=270>
〇〇〇〇株式会社サーバー最新情報のご紹介
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="about-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/about-j.gif" ALT="〇〇〇〇のご紹介" BORDER=0 HEIGHT=37 WIDTH=270>
〇〇〇〇企業概要、採用情報など
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="product-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/products-j.gif" ALT="商品のご紹介" BORDER=0 HEIGHT=37 WIDTH=270>
商品、ダウンロードに関する情報は こちらです
</A>
</NOBR>
<HR>

```

【図9】

```

<NOBR>
<A HREF="customer-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/sales-js.gif" ALT="お客様便利帳" BORDER=0 HEIGHT=38 WIDTH=
270>
お客様窓口、販売会社窓口のご案内
</NOBR>
</A>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="divisional-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/division-js.gif" ALT="事業部門別情報" HEIGHT=37 WIDTH=270
BORDER=0>
各事業部門から技術、ビジネス情報をご提供します
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="Camera-muse/">
<IMG ALIGN=Center SRC="c_museum-js.gif" ALT="カメラミュージアム" HEIGHT=38 WIDTH=270 BOR
DER=0></A>
<A HREF="Camera-muse/">
<Font size=-1>1972～1988年発売のカメラを追加しました
</Font>
</NOBR>
</Font>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="Heartware/index.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/social-js.gif" ALT="社会・文化支援センター情報" BORDER=0 H
EIGHT=38 WIDTH=270>
社会・文化支援センターからのご案内
</A>
</NOBR>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="subsidia-j.html">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/subsidia-js.gif" ALT="関係会社一覧"
BORDER=0 HEIGHT=38 WIDTH=270>
全世界のグループ会社一覧
</NOBR>
</A>
<HR>
<NOBR>
<A HREF="mailto:webmaster@ooooo.co.jp">
<IMG ALIGN=Center SRC="common/feed-js.gif" ALT="フィードバック" HEIGHT=38 WIDTH=270 BORD
ER=0>
に対するご意見やご要望はこちらへどうぞ
</A>
</NOBR>
<HR>
<A HREF="w2gate-j.html">
<IMG SRC="common/squaregway.gif" ALT="Homeボタン" BORDER=0 HEIGHT=47 WIDTH=42>
</A>
<BR><BR>
<CENTER>
<IMG ALIGN=Center SRC="common/copyright.gif" ALT="Copyright 1995-XXXX INC." HEIGHT=16 WID
TH=162>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```


【図10】

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>What's New</TITLE>
</HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<IMG ALIGN=Left SRC="common/headlogo_WH.gif" ALT=" OOOOロゴ" BORDER=0 HEIGHT=43 WIDTH=170>
<IMG ALIGN=Right SRC="common/inc_headlogo-j.gif" ALT=" OOOO株式会社" BORDER=0 HEIGHT=43 WIDTH=150>
<BR CLEAR=all>
<BR>
<HR>
<A HREF="newlink-e.html">
<IMG SRC="common/english.gif" ALT="英語" ALIGN=RIGHT HEIGHT=26 WIDTH=133 BORDER=0>
</A>
<BR CLEAR=all>
<BR>
<IMG SRC="common/whatnew-js.gif" ALT="What's New" HEIGHT=38 WIDTH=270>
<HR>
<BR>
<FONT SIZE=2>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" ALIGN=Top HEIGHT=22 WIDTH=22>
OOO○株式会社サーバの最新情報
</FONT>
<UL>
<LI> OOO○カメラミュージアム
<BR>
<DL>
<DD>
OOO○最初のカメラから最新機種まで、 OOO○カメラの歴史を
紹介するバーチャル博物館です。
いよいよ1972年～1985年発売のカメラを追加しました。 お気軽に<A HREF="Camera-muse/">ご入館<
/A>ください。
<BR>
ご覧いただくには
<A HREF="http://www.macromedia.com/Tools/Shockwave/">ショックウェーブ
</A>をご用意ください。
<DL>
<BR>
<LI>
Live&Active映像をお楽しみください！
<BR><BR>
<DL>
<DD>
CyberMediaプロジェクトが <A HREF="http://www.x-roms.OOOO.co.jp">Live&Active
映像を配信するシステム WebView </A> のページ（最新バージョン）を開設
しました。 WebView ではカメラのリモートコントロールを行うことも可能で、
映像の希望の角度、ズーム倍率で映像を楽しむことが出来ます。 <BR>
なお、 WebView をお楽しみになる前にヘルパーアプリケーションをダウンロードしてください。（無
償） <BR>
<p><e>
当社富士郷野リサーチパークにカメラを設置しました。 <a href="/Fujisan/">富士山の映像</a>を
ライブにてお楽しみ頂けます。
<p>
</DL>
<BR>
<LI>
<A HREF="/imaging/">オンラインマガジン「BeBit」12月号</A>
<BR><BR>
<DL>
<DD>
オンラインマガジン「BeBit」はデジタルカメラを開発している「イメージング
研究所」から発行されています。デジタルカメラをメイントピックにしてお届けし
ています。 <A HREF="/index-.html">ホームページ</A>の<A HREF="divisional-j.html">
「編集部内情報」</A>からもアクセスできます。
<BR>
</DL>

```

【図11】

```

</UL>
<BR>
<FONT SIZE=2>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" HEIGHT=22 WIDTH=22>イベント情報
</FONT>

</DL>
</UL>
<UL>
<LI>『写真新世紀展』をインターネット上でも公開
<BR>
<DL>
<DD>
<BR>
毎年写真展覧会を目的とする〇〇〇〇の文化支援プロジェクト
「写真新世紀」の展示作品や審査員のコメントを
インターネット上で公開します。<BR>
<A HREF="http://ec_web.cndc.〇〇〇〇.co.jp/no_photo/">
http://ec_web.cndc.〇〇〇〇.co.jp/no_photo/
</A>
<BR>
</DL>
</UL>

<FONT SIZE=2>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" HEIGHT=22 WIDTH=22>新商品のご紹介
</FONT>
<UL>
<LI>
新商品に関するお知らせは、〇〇〇〇販売株式会社サーバー／新着情報／
プレスリリースでお届けしております。<BR>
<BR>
<DL>
<DD>
<A HREF="http://www.〇〇〇〇-sales.co.jp/Whatsnew/whatsnew.html">
http://www.〇〇〇〇-sales.co.jp/Whatsnew/whatsnew.html
</A>
</DL>
</UL>

<BR><BR><BR>
<HR>
<A HREF="index-j.html">
<IMG SRC="common/squarehose.gif" ALT="Back to Homepage" BORDER=0 HEIGHT=47 WIDTH=62>
</A>
<BR><BR>
<CENTER>
<IMG ALIGN=Center SRC="common/copyright.gif" ALT="Copyright 1995-CANON INC." HEIGHT=16 WID
TH=163>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

【図12】

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>What's New</TITLE>
</HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
<IMG ALIGN=left SRC="common/headlogo_WH.gif" ALT="〇〇〇〇ロゴ" BORDER=0 HEIGHT=43 WIDTH=170>
<IMG ALIGN=right SRC="common/ino_headlogo-j.gif" ALT="〇〇〇〇株式会社" BORDER=0 HEIGHT=43 WIDTH=150>
<BR CLEAR=all>
<BR>
<HR>
<A HREF="englink-a.html">
<IMG SRC="common/english.gif" ALT="英語" ALIGN=right HEIGHT=20 WIDTH=133 BORDER=0>
</A>
<BR CLEAR=all>
<BR>
<IMG SRC="common/whatnew-js.gif" ALT="What's New" HEIGHT=38 WIDTH=270>
<HR>
<BR>
<FONT SIZE=5>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" ALIGN=Top HEIGHT=22 WIDTH=22>
〇〇〇〇株式会社サーバの最新情報
</FONT>
<UL>
<LI> 〇〇〇〇カメラミュージアム
<BR>
<DL>
<DD>
<BR>
〇〇〇〇最初のカメラから最新機種まで、〇〇〇〇カメラの歴史を
紹介するバーチャル博物館です。
総計1972年～1986年発売のカメラを追加しました。 お気軽に<A HREF="Camera-muse/">ご入館<
/AS>ください。
<BR>
ご覧いただくには
<A HREF="http://www.macromedia.com/Tools/Shockwave/"> ショックウェーブ
</A>をご利用ください。
</DL>
<BR>
<LI>
Live&Active映像をお楽しみください！
<BR><BR>
<DL>
<DD>
CyberMediaプロジェクトが <A HREF="http://www.x-zone.〇〇〇〇〇.co.jp"> Live&Active
映像を配信するシステム WebView </A> のページ（動画バージョン）を開発
しました。 WebView ではカメラのリモートコントロールを行うことも可能で、
お客様の希望のシングル、ズーム画像で映像を楽しむことができます。<BR>
なお、WebView をお楽しみになる前にヘルパーアプリケーションをダウンロードしてください。（無
償）<BR>
<P><P>
当社富士裾野サーバにカメラを設置しました。<a href="/Fujisan/">富士山の映像</a>を
ライブにてお楽しみ頂けます。
<P>
</DL>
<BR>
<LI>
<A HREF="/imaging/">オンラインマガジン「BeBit」12月号</A>
<BR><BR>
<DL>
<DD>
オンラインマガジン「BeBit」はデジタルカメラを開発している「イメージング
研究所」から発行されています。デジタルカメラをメイントピックスにしてお届けい
ます。<A HREF="index-j.html">ホームページ</A>の<A HREF="divisional-j.html">
「事業部門別情報」</A>からもアクセスできます。
<BR>
</DL>

```

【図13】

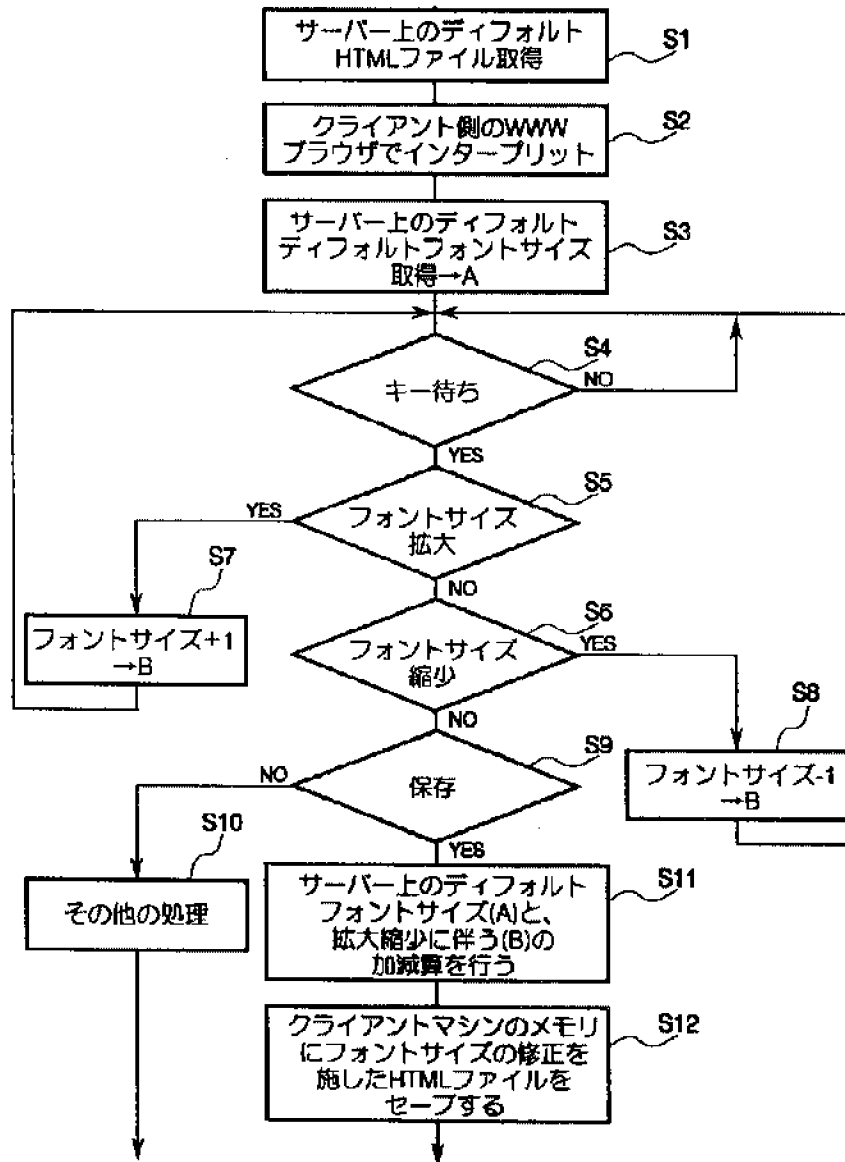
```

</UL>
<BR>
<FONT SIZE=5>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" HEIGHT=22 WIDTH=22>イベント情報
</FONT>

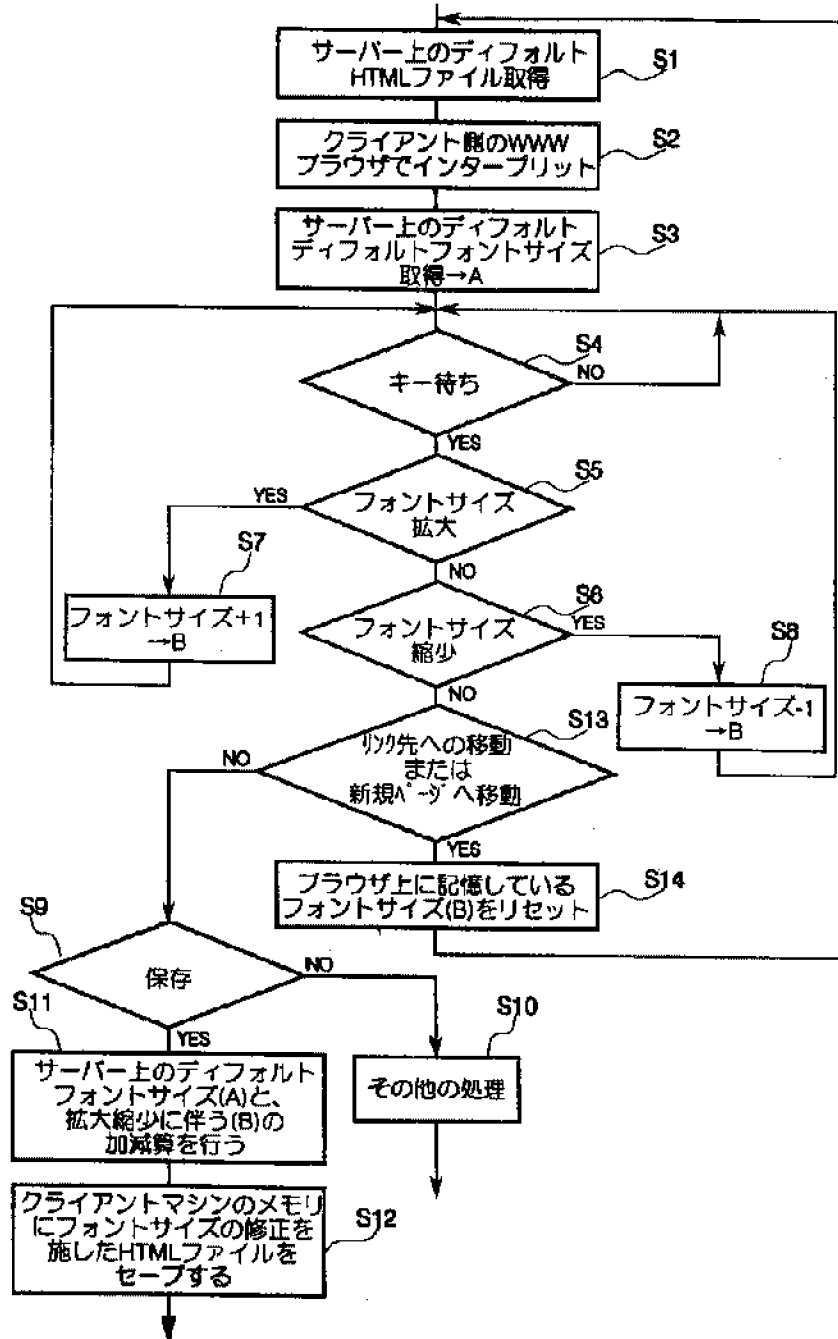
</DL>
</UL>
<UL>
<LI>『写真新世紀展』をインターネット上でも公開
<BR>
<DL>
<DD>
<BR>
<DD>写真寫真館を目的とする〇〇〇〇〇の文化支援プロジェクト
「写真新世紀」の展示作品や専任員のコメントを
インターネット上で公開します。<BR>
<A HREF="http://sc_web.cnds.〇〇〇〇〇.co.jp/nc_photo/">
http://sc_web.cnds.〇〇〇〇〇.co.jp/nc_photo/
</A>
<BR>
</DL>
</LI>
</UL>
<FONT SIZE=5>
<IMG SRC="common/bullet-d.gif" ALT="" HEIGHT=22 WIDTH=22>新商品のご紹介
</FONT>
<UL>
<LI>
<DL>
<DD>新商品に関するお知らせは、〇〇〇〇〇販売株式会社サーバー／新着情報／
プレスリリースでお届けしております。<BR>
<BR>
<DL>
<DD>
<A HREF="http://www.〇〇〇〇〇-sales.co.jp/whatsnew/whatsnew.html">
http://www.〇〇〇〇〇-sales.co.jp/whatsnew/whatsnew.html
</A>
</DL>
</LI>
</UL>
<BR><BR><BR>
<HR>
<A HREF="index-j.html">
<IMG SRC="common/squarehome.gif" ALT="Back to Homepage" BORDER=0 HEIGHT=47 WIDTH=62>
</A>
<BR><BR>
<CENTER>
<IMG ALIGN=Center SRC="common/copyright.gif" ALT="Copyright 1995-〇〇〇〇〇INC." HEIGHT=16 WIDTH=163>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>

```

【図14】



【図15】



【図16】

